

「令和 7 年 新年賀詞交歓会」 報告

令和 7 年 3 月

T S A 事業委員会委員長 川口裕子

令和 7 年 2 月 7 日パレスへいあんにて、令和 7 年新春講演会及び新年賀詞交換会が開催されました。

新春講演では、『令和 6 年能登半島地震の課題とは』というメインテーマを掲げて 《近年の地震災害との比較から見えてくる今後の想定される課題について》を 東北大学災害科学国際研究所准教授柴山明寛様、《地震動、被害地域の地盤と構造物被害》を東北大学大学院工学系研究科 都市・建築学専攻教授で TSA 顧問の木村祥裕様に、それぞれご講演いただきました。今回の講演会には 70 名もの参加者が集まりました。



河岸を変えての新年賀詞交歓会では、おなじみの吉田力先生の尺八と橘寿好先生の箏の演奏により皆様をウェルカムドリンクでお迎えして、平間恵さんの司会進行よりスタートいたしました。今年は 106 名の参加者と共に井戸川隆一会長のあいさつに始まり、ご祝辞を国土交通省東北地方整備局小澤様、宮城県土木部建築宅地課塩谷様、仙台市都市整備局菅原様から頂きました。また、今年度は資格取得の該当者がいなかったため祝金贈呈はありませんでした。そして新入会員 2 社の紹介が行われました。

乾杯のご発声は宮城県建築士事務所協会 高橋清秋会長より頂戴いたしまして歓談の時間に入りました。



そして歓談中、恒例となりました新春大抽選会が平間恵さんの進行によりテンポよく行われました。賛助会員様やパレスへいあん様のご協力により、大いに盛り上がる事が出来ました。この場を借りて心より厚くお礼申し上げます。宴もたけなわとなり、賛助会の内藤委員長の中締め挨拶で開きとなりました。その後は同会場にて数十名の方々と直会を行いました。

毎年行われている新年賀詞交歓会ですが、改めて TSA は、皆様のご支援とご協力により成り立っていることを再確認させていただきました。これからも末永くどうぞ宜しくお願いいたします。 ありがとうございます。